

令和7年度版岩手県水道地図作成業務委託 仕様書

1 委託業務名

令和7年度版岩手県水道地図作成業務委託

2 委託契約期間

契約締結日から令和9年2月10日まで

3 製本による水道地図作成

(1) 製本の仕様

- ア 規格：見開き 縦約47cm×横約59cm、閉じた場合 縦約47cm×横約29.5cm
- イ 地図縮尺：基本図 1/50,000、総括図 1/200,000
- ウ 製本：簡易製本（無線綴、表紙ダイヤボードHM2007）
- エ 部数： 3部

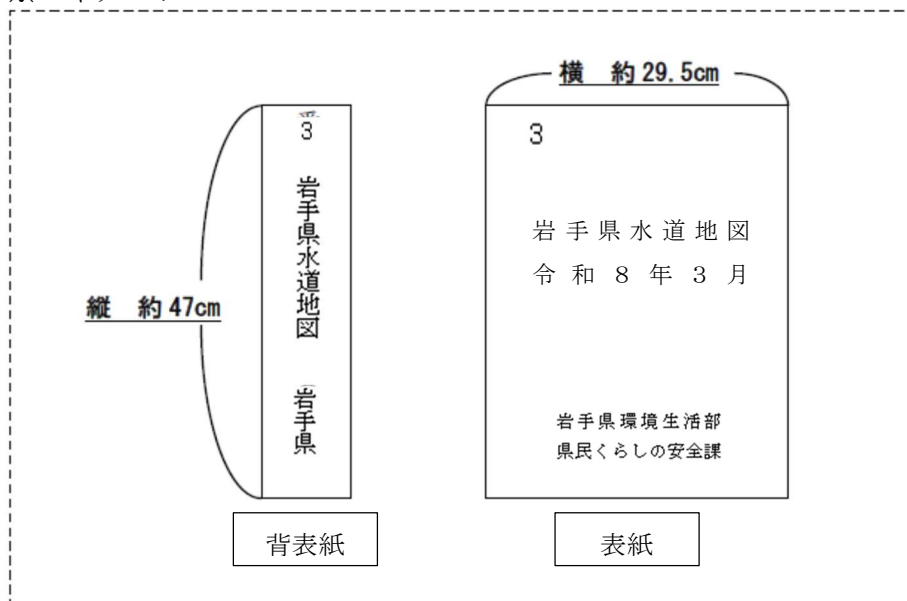
(2) 構成

- ア 目次
- イ 総括図
- ウ 基本図
- エ 付図

(3) 表紙

- ア 表紙記入内容
 - ・ 都道府県番号及びタイトル（3 岩手県水道地図）
 - ・ 調査時点（令和8年3月）
 - ・ 担当部局名（岩手県環境生活部県民くらしの安全課）
- イ 背表紙記入内容
 - ・ 都道府県番号及びタイトル（3 岩手県水道地図）
 - ・ 都道府県名（岩手県）

※ イメージ



(4) 目次

ア 記入内容

(ア) 県全体図

市町村名が入った全体図に格子を切り、図面番号を記入する。また、新しいわて水道ビジョンで定める県内の5つの圏域（盛岡、県南、沿岸南部、宮古、県北）について、境界と圏域名を記入すること。

(イ) 索引

市町村から地図番号を導くものとする。

(ウ) 凡例

別添1を参照し作成すること。

イ 注意事項

市町村名から容易に都道府県内における位置及び基本図を見出すことができるよう工夫すること。

(5) 基本図、総括図

図面は、より広域的な視点を深めるため、20万分の1の総括図及び5万分の1の基本図の二段構成とすること。

ア 使用図面

国土交通省国土地理院発行の20万分の1の地勢図（総括図）及び5万分の1地形図（基本図）とし、サイズを桎版（縦47cm×横58cm）とすること。総括図1枚につき基本図16枚を基本単位とする。

なお、5万分の1地形図について、逐次更新されている2万5千分の1地形図を使用する場合は、5万分の1サイズに変換して使用すること。

また、記入内容は最小限にとどめ、地勢図や地形図を薄くして表示する等、水道施設の位置等が明確に分かるようにすること。

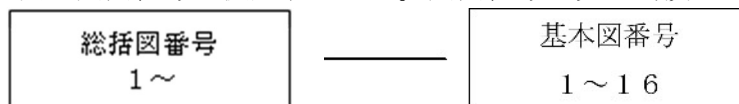
イ 出典の記載について

国土地理院地図を使用した頁には右下に出典を記載すること。

記載例：地理院タイルに水道施設、給水区域を追記して掲載

ウ 図面番号

頁及び図面番号を使用すること。図面番号は次の要領によることとする。



(ア) 総括図番号は、都道府県において順に付すこと。

(イ) 基本図番号は、地形図左上の末尾の番号を使用すること。

エ 記入内容（総括図及び基本図）

ただし、★がある項目は総括図において記入を必要としないものを表す。

(ア) 各境界・区域界

境界は、原図をなるべく損なわないように細線にて記入する。区域内外を着色する場合には、数ミリ幅にとどめ、ハッチング（色塗り）は行わないこと。

① 行政区域・・・・・・・・・・茶色

② 上水道給水区域・・・・・・・・・・青色

- ③ 簡易水道給水区域（公営）・・・・・・・・・・緑色
- ④ 簡易水道給水区域（非公営）・・・・・・・・・・焦茶色
- ★⑤ 専用水道の位置・・・・・・・・・・黄色（○印 ※番号付）
- ★⑥ その他小規模水道・・・・・・・・・・紫色（○印 ※番号付）

(イ) 名称等

① 市町村名

市町村名は赤細線で囲むこと。

★② 水道名

水道名は、各市町村が作成した索引表をもとに図中に記入すること。

（略称例：○○用供、○○上水、○○簡水 等）

専用水道及びその他小規模水道の水道名は記載不要であること。

なお、受注者は索引表の番号が重複しないよう市町村順に索引表を並び替え、通し番号を振り、また、通し番号を基本図に振り直すこと。

また、図枠外に当該図に係る水道用水供給事業、上水道事業及び簡易水道事業一覧表（別添2参照）及び専用水道・その他小規模水道一覧表（別添3参照）を記載すること。

(ウ) 水道施設

★① 水源

取水地点に橙色で○印を付し、当該水道種別の略号及び水位（水頭）を記入すること。（浅井戸・深井戸の場合は記入不要）

また、区分が2つにまたがる場合は、それらを全て記入すること。

略号は以下の6種類とする。

開・・・・開発水

※ダム等（開発水）の下流で取水している場合はその取水地点に○印を付すこと

自・・・・河川自流水

伏・・・・伏流水

浅・・・・浅井戸

深・・・・深井戸

湧・・・・湧水

② 導水管及び浄水場

導水管（黒細線）、●印及び浄水場の名称および水位（水頭）（ろ過池出口や浄水池等）を記入し、図枠外に、施設能力、令和7年度最大浄水量を記入すること（別添4参照）。記入の際は水源と浄水場を関連付けて記入すること。

③ 水道用水供給事業

①、②以外に、送水管（黒二重細線）を記入すること。

④ 送水管及び配水池

送水管（黒点線）、■印及び配水池の名称および水位（水頭）（HWLやLWLなど各事業者で管理している水位（水頭））を記入すること、配水池が受水地点の場合は□印とすること。

また、図枠外に、配水池容量、令和7年度日最大配水量を記入すること（別添4参照）。日最大配水量は、事業全体の日最大ではなく当該配水池に係る日最大とすること。送配水管の場合は送水に至るルートのみ記載すること。

★(エ) 水準基準

水位（水頭）を特殊基準面（T.P以外）で管理している場合は、図枠外に記載すること。

(オ) その他記入を要しないもの

配水管

取水地点の計画取水量等の取水量

(カ) 記入上の注意

地形図上の上部の番号及び名称並びに右下の行政区画及び索引図は利用できる形でとどめること。

単位はm及びm³とすること。

(6) 順番

ア 巻頭には目次等を設けること。

イ 図面は、図面番号順に配置すること。その際、総括図にはインデックスを付け、総括図の間に基本図を挿入すること。これにより、総括図は基本図の目次としての役割も果たすこととなる。

ウ 図面間の上下左右の連続関係が容易にわかるように、図面の上下左右に連続する図面の番号を入れるとともに右下の索引図にも同様に図面番号を入れること。

(7) 校正

内容校正については、プロッター出力にて1回以上実施するものとする。色校正については本機校正を基本とし1回以上行うこととするが、プロッター出力図にて色の判別が十分と判断できる場合は、プロッター出力図で代替できるものとする。

なお、内容に不備が多く県担当者が必要であると判断した場合には、追加の校正を行うものとし、その際の費用は受注者が負担するものとする。

(8) 印刷・加工

ア 印刷用紙は、地図専用紙（桎判 70～90kg）又は同等以上のものとする。

イ 印刷インクは、用紙の裏面に浸透しないものとする。

(9) その他

印刷された水道用水供給事業の一般平面図等を裏表紙にポケットを設け添付すること。なお、ポケットには図面目録を付すこと。

4 電子データの提供

(1) 「1 製本による水道地図」により作成した総括図・基本図の PDF データ

ア 記録媒体

記録媒体は、CD-R ディスク（12cm）又は DVD-R ディスク（12cm）に記録すること。

イ 注意事項

各 PDF ファイルには市町村名を付すなどして、ファイル名からデータの内容が容易に把握できるようにすること。

ウ 部数：2部

(2) 地図作成に使用した地理情報（GIS ソフトウェアで読込可能なシェープファイル形式で提供すること。）

ア 記録媒体

記録媒体は、CD-R ディスク（12cm）又は DVD-R ディスク（12cm）に記録すること。

イ 注意事項

各 PDF ファイルには市町村名を付すなどして、ファイル名からデータの内容が容易に把握できるようにすること。

ウ 部数：1部

(別添1)

凡 例 表

行政区域	茶 色	
上水道給水区域	青 色	
簡易水道給水区域 (公営)	緑 色	
簡易水道給水区域 (非公営)	焦茶色	
専用水道の位置	 黄 色	
その他小規模水道 (飲料水供給施設 等)	 紫 色	
水源	橙 色	
水源の種別	開発水	
	河川自流	
	伏流水	
	浅井戸	
	深井戸	
	湧水	
浄水場	 黒 色	
導水管(路)	 黒 色	
送水管(路) (用水供給事業)	 黒 色	
送水管(路) (用水供給事業以外)	 黒 色	
配水池	 黒 色	
配水池 (受水地点)	 白色(黒枠)	

(別添2)

水道用水供給事業、上水道事業及び簡易水道一覧表 【図枠外に記載】

(記入例)

〇〇市上水道事業		
	R7 年度	計画値
給水人口 (人)	□□	■ ■
日最大給水量 (m ³)	△△	▲▲

△△水道用水供給事業		
	R7 年度	計画値
給水人口 (人)	□□	■ ■
日最大給水量 (m ³)	△△	▲▲

(別添3)

専用水道・その他小規模水道一覧表 【図枠外に記載】

(記入例)

市町村名	番号	名称	原水の種別	浄水能力	配水池容量
△△市	1	●●専用水道	深井戸		
※※町	2	◇◇飲料水供給施設	河川自流		

(別添4)

浄水場及び配水池一覧（上水道事業、簡易水道事業及び水道用水供給事業）

【図枠外に記載】

浄水場					配水池					
名称	浄水方式	施設能力 (m ³)	日最大浄水量 (m ³ /日)	水頭 (m)	番号	名称	施設能力 (m ³)	日最大配水量 (m ³ /日)	高水位 (m)	低水位 (m)

基本図例

